

ます、それを本校生徒のみにしても四百人と概算して百六十八圓の差となります。

こふ云ふ風に擧げて來ますと、ピン一本鉛筆半分即ち我々の日用、用ふる總ての物品はこふ云ふ利殖の道をもつて居ります。我々の間にもし之が實行出來てこふ云ふお金が生じたとする、之をうまく活用してゆけばまた多くの利殖を見る事は明であります。

我々四百人の生徒が日常用ふる總ての物品に對して、商人に與ふる處の利益は甚しいものであると思はれます。此を前に述べました様な方法によつて出來たお金を以て、私共の間に公賣會の様なもの組織する、そうすると今まで徒らに商人の懐を温めて居た利益は浮いて來て、我々日常の需用は容易な方法によつて充される譯であります。そして其處に生ずる利益は適當な處置を以て適當に活用させる、現に廣嶋縣の師範學校には早くから公買會が組織されて、一定の室に物品が並べられて各々價格が記入してある、其傍に貯金箱の様なもの置いてあつて、人は一人も居ないほしいと思ふものは品物を取つて、相當の價だけお金を其箱の中へ入れる、こふ云ふ風にして毎月末に品物の殘高と賣上金高とをしらべて、其月の決算をする其時金高が多うなる事はあつても不足して居る事は一度もないと云ふ事であり、但し多くなると云ふのは、つり錢等の三厘五厘を其まゝ入れる人があるからで御座いませう。

こふ云ふ風な事は經濟上の利益は勿論の事、其團體の徳義と云ふ事に大に關係があります、やか

ては人の師表とならふと云ふ人々の團體が、これ位の事の出來るのは當然で、出來ないのがむしろ不思議かも知れません。

いろく述べて參りましたけれども、要するに我國の現状にかんかみ我々國民は一刻も早く、其貧乏から逃れて富國の源を作らなければなりません、貯蓄と云ふ事は其一つの方便であつて、まだそう云ふ心を養ふものではありませんまいか。

ストーブノ研究 (其二)

温度及湿度ノ變化 技藝科三年 堀 と きの

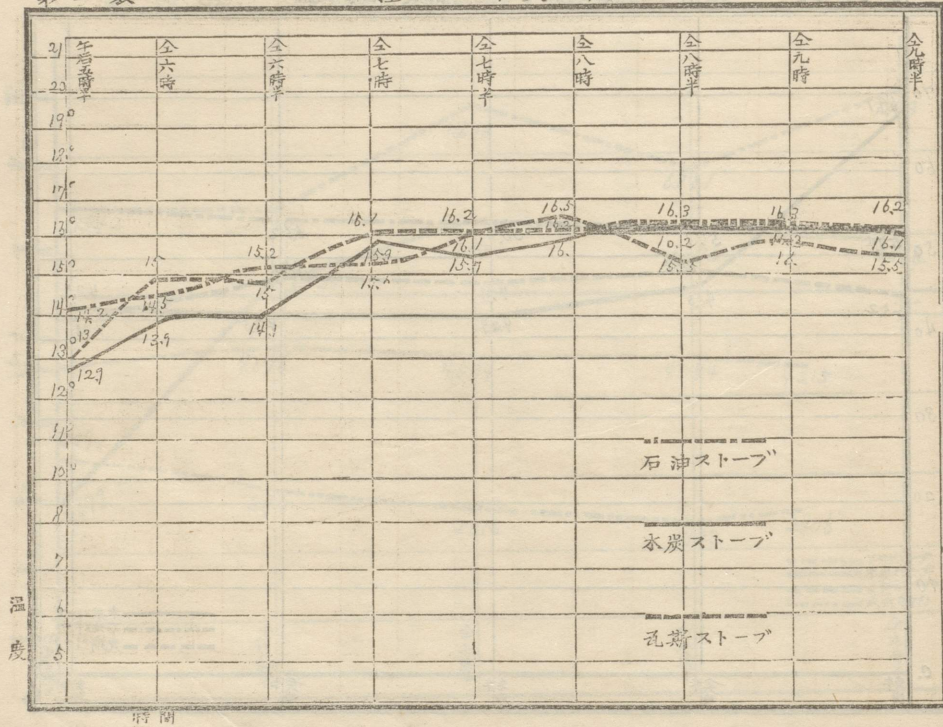
黒 田 きみ
坂 本 やす

ストーブノ研究ト云フコトヲ餘リ耳ニシタコトガ御ザイマセンノデ、時節柄ストーブノ研究モ面白カラフト思ヒマシテ少シ計リ致シテミマシタ。

私共ノ致シマシタノハ就中温度及ビ湿度ノ方デ御座イマシテ、先ツ研究ノ中心トシテ致シマシタノハ寄宿舎ノ瓦斯ストーブデ、皆サンガ餘リ暖味ヲ感ゼヌ火鉢ノ方ガマシダト仰シヤル、アノストーブガ果シテ一時間二時間……ト經ツ間ニドンナ梅鹽ニ温度ガ昇ルモノデアラウカ、又咽喉ヲ

第三表

三種ストーブ温度比較表

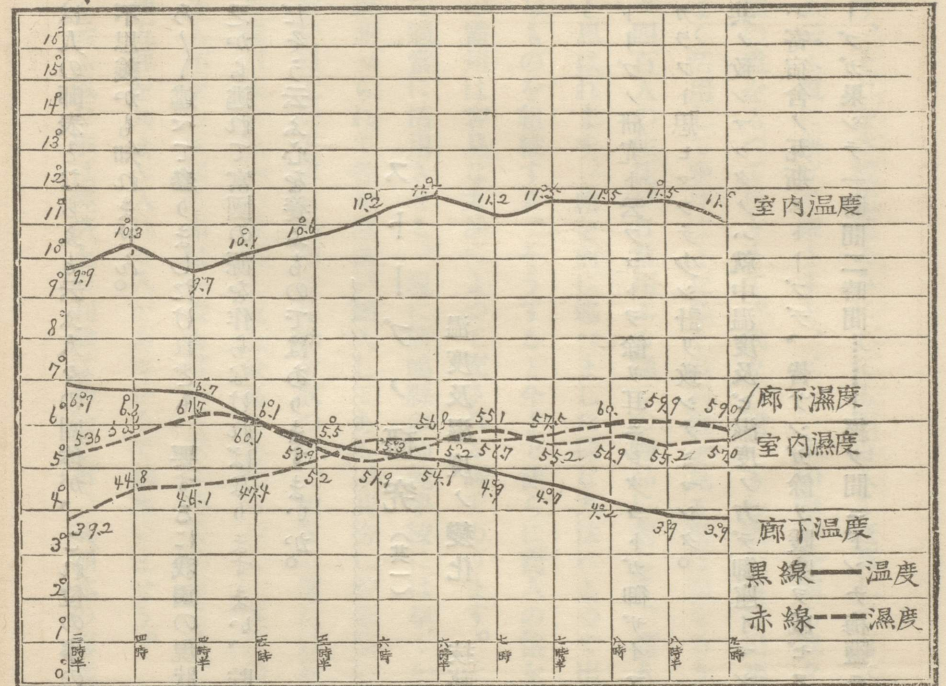


温度

時間

計ヲ用ヒタノミデ御ザイマシタガ私共ハ普通十二人ノ室ト其ノローカトニ就テ室内ニハストーブラタキマシテ、午後三時カラ九時マデ三十分毎ニ兩方ヲ計リマシタガ、其ノ結果ハ第一表ノ通りデ御ザイマス。此ノ黒線ノ上ノ方ガ室内ノ温度ノ變化デ、最初ストーブラタキ初メマシテ三十分経テ三時半ニハ九度九分デ御ザイマシテ、六時半ニハ十二度七分ニ昇ツテ居リマシテ、七時カラ八時半マデ、ヤハリ十二度半ニナツテ居リマシテ、九時ニハ十二度ニナツテキマス、大体ニ於テ非常ニ昇ツテ居リマス

第一表 瓦斯ストーブ用ヒタル室内ト廊下トノ温度及湿度ノ比較表

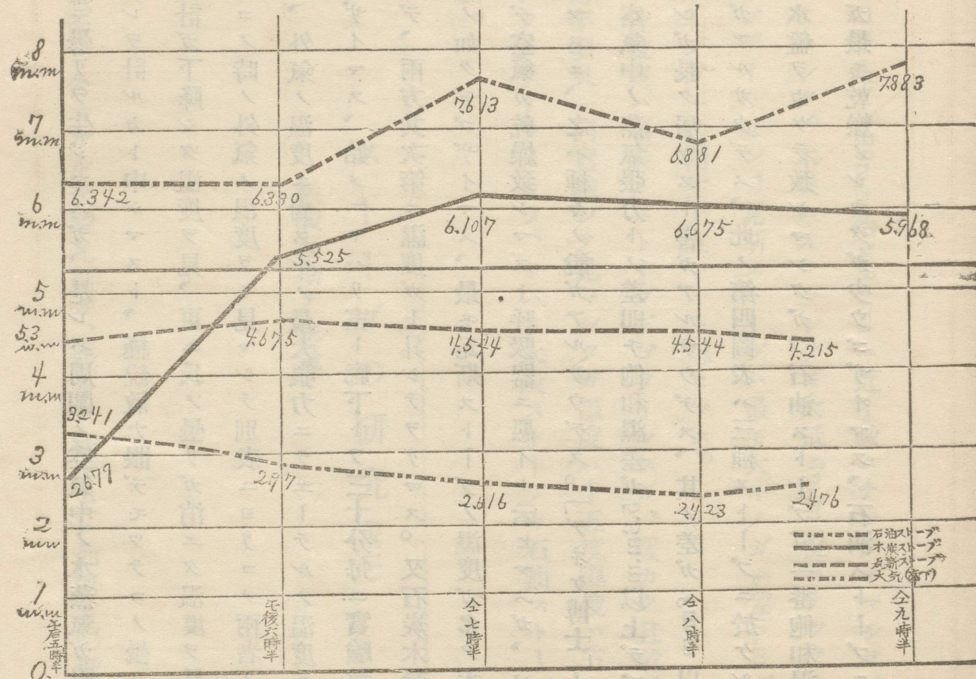


黒線——温度
赤線——湿度

爲メニ悪クスルト申シテキマスガ、果シテ湿度ニ如何ナル變化ガアルデアラウカト云フコトヲシラベテ見マシタ。何分研究ノ日ガ淺ク御ザイマシテ時間ノ都合上、回数モ少ナウ御座イマス上ニ加テ、其方法ニ充分熟シテキマセンタメニ成可正確ニハ致シタ積リデ御座イマスガ、理ニ合ハナイ結果モ出タリ致シマシテ、結果ガ誤リナイト云フコトハ勿論出來マセンガ、少シハ御參考ニモナルカト思ヒマスノデ其方法ト結果トヲ述ベテミマセウ。

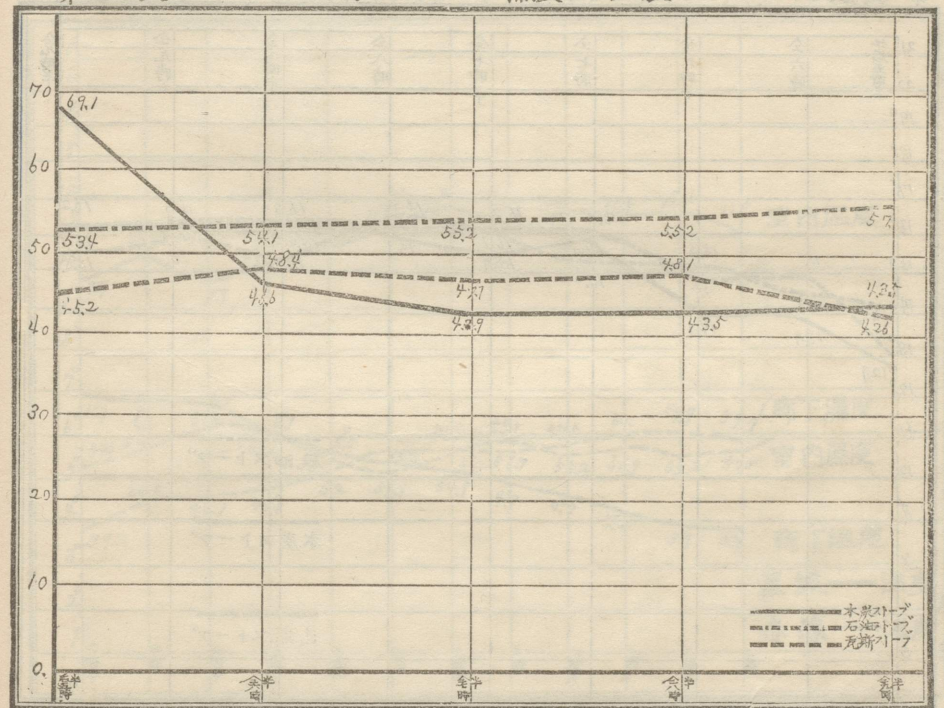
先ヅ第一ニ温度ニ就テ御話シ致シマス。温度ヲ計リマスニハ普通ノ寒暖

第四表 三種ストーブ及廊下飽和濕差比較表



木炭ノ方ハ其ノ量ヲ多クスル事ニ因テ未ダ温度ヲ増ス事ガ出来サウデ御ザイマスガ、瓦斯ノ方ハコレ一杯ノ所、石油ストーブハ油煙ノ制限ガ在テ、アレ以上ニハ増スコトハ困難ラシウ御ザイマス。ツマリ此ノ結果ニヨリマスト此ノ三種ノストーブハ温度ニ於テハ大差ハ御ザイマセン。次ギニ湿度ニ就テ述ベマス。先ヅ湿度ヲ計リマスニハ此ノらむぶれひと氏ノ湿度計ヲ用ヒマシタ、此ノ湿度計ノ中ニ半分位エーテルヲ入レマシテ、空氣ヲ送リマスト中ノエーテルガ蒸發致シマスノデ、此ノ中ノ温度ガ非常ニ下降致シマス、其時此ノ鏡

第三表 三種ストーブ湿度比較表



此ノ下ノ方ノ黒線ハローカノ温度デ御ザイマスガ、三時半ニハ六度九分ノ温度デ御ザイマシタガ、漸次降りマシテ九時ニハ三度九分ニ下降致シマシタ、此ノ兩線ハ反對ノ方向ヲ取テ居リマスガ、此ノ七度一分ノ差ハ即チストーブノ御カデデ御座イマシテ御部屋ハ是レダケ暖カイノデ御座イマス。丁度此ノ實驗ヲ行テ居リマス内ニ家事科ノ方デ、石油ストーブト木炭ストーブヲ買テ頂ク事ガ出来マシタカラ、是等ヲ瓦斯ストーブト比較シテ見マシタラ、次ギノ第二表ノ如キ結果ニナリマシタ。尤モ

ノ面ニ曇リヲ生ジマスガ、是レハ周圍ノ空氣中ノ水蒸氣ガ附着スルノ御ザイマス。今如何ニシテ是レヲ計ルカト申シマスト、極鋭敏ナ眼デモツテコノ曇リヲ生ジタ時、上カラ差シ入レテアル寒暖計ガ下降シタ温度ヲ見、更ニ氏ノ曇リガ消エタ温度ヲ見テ此ノ兩ツノ度數ヲ平均シマシテ、別ニコノ時ノ外氣ノ温度ヲモ見マシテ別表ニヨリコノ兩者ノ各温度ニ於ケル最大張力ヲ見出シマシテ、外氣ノ温度ニ對スルノ最大張力ニテエーテルノ温度ニ對スル最大張力ヲ割ツタモノガ湿度デゴザイマス、始メニヤハリ室ト廊下トヲ三十分毎ニ實驗致シマシタ共ノ結果ハ第一表ノ點線ノ如クデ、兩方共次第ニ湿度ガ上昇シテヲリマス。又石炭木炭瓦斯ノ三ストーブノ湿度ノ結果ハ第三圖ノ如クデゴザイマス、最モ瓦斯ストーブノ湿度ガ多ク木炭ストーブガ最モ少ウゴザイマス。ソレデ空氣ガ乾燥致シマスト呼吸器ニ惡イト云ヒマスガ、ソレナラド位カラ衛生上惡シキカト申シマスニ、之ハ種々ノ説ガアルサウデス。「デネケ博士」ノ説ニヨリマスト外氣ノ最大張力ト現在ノ空氣中ノ蒸氣張力トノ差即チ飽和濕差ガ 0.38mmHg 以上デゴザイマシタラ、少シノ間ハ害ハアリマセンガ長ク居マスト害ガアルサウデス、其ノ差ガ 8mm 以上ニナリマシタラ、短カイ時間内デモ害ガアルサウデス、此ノ第四圖表ハ三種ストーブニ於ケル飽和濕差ノ結果デゴザイマシテ、何レモ水盤ヲカケテ致シマシタガ、石油ストーブガ一番飽和濕差ガ著シクゴザイマシテ、瓦斯ストーブガ最モ乾燥ノシカタガ少ウゴザイマス、石油ストーブニ至リマシテハ三四時間ノ燃燒ニヨツ

テ飽和濕差ガ 7.86mm 殆ド 8mm ニ近イ數ニナツテキマシテ、實際實驗シツ、咽喉ガ痛ミ出ス位デゴザイマシタ。木炭ニオキマシテモ大抵 6mmHg 位ニナツテキマスカラ、長時間キルニハ衛生上宜シクゴザイマセン、瓦斯ストーブハ最モ大イノガ 4.68mmHg デスカラ、コノ結果ニヨリマスト瓦斯ストーブガ一番衛生上宜シイト思ヒマス。序ニ舎監室ハ石炭ノストーブデゴザイマスガ、暖カク且乾燥シテキル様ニキ、マシタカラ、午後五時半頃只一回實驗シテ見マシタガ温度ハ十五度湿度ハ五二・五飽和濕差ガ六・二一ミリメートルニナツテヲリマスカラ、ヤハリ木炭ストーブヤ石油ストーブト共ニ衛生上ニハ宜シクナイト存ジマス。

ストーブの研究 (其二)

炭酸瓦斯ノ定量

技、三 西 館 と お
岸 高 千 代
加 茂 つ や

空氣中ニ含マルル炭酸瓦斯ガ、我々ノ衛生上ニ如何ニ影響ヲ及ボスカハ昔ヨリヤカマシイ問題ト